

## デジタルを活用した自殺対策（群馬県）

## 【概要】

若者を中心に利用が拡大しているデジタルツールを活用して、相談窓口情報等をわかりやすく発信することで相談につながりやすくする。

▼検索連動型広告：自発的には相談や支援につながりにくい傾向がある若年層に対し、インターネット検索連動型広告を表示させることで相談や支援につなげるのがねらい。自殺に関連するキーワードを検索した人に相談機関への相談の勧奨と「こころの健康相談統一ダイヤル」の電話番号を表示し、ワンクリックで電話がかけられるようにする。

▼自殺予防動画作成：県内プロスポーツチーム（サッカー、野球、バスケットボール）の選手に協力を得て、自身の体験を語り、相談窓口を案内するYoutube動画を作成。群馬県動画サイトで公開したほか、各媒体で紹介。

▼SNSを利用した情報発信：「#自殺」「#相談しよう」等のハッシュタグと合わせ、各種相談の案内や、県民向け研修等の案内を発信する。

## 【大綱の分類】

- 2 (3) 自殺や自殺関連事象等に関する正しい知識の普及
- 7 (1) 地域における相談体制の充実と支援策、相談窓口情報等のわかりやすい発信
- 7 (7) ICTを活用した自殺対策の強化追加済み
- 11 (6) 若者の特性に応じた支援の充実

## 【政策パッケージ分類】

- 基3-3) メディアを活用した啓発
- 重1-6) 社会全体で若者の自殺のリスクを低減させるための取組

## 【事業実施年度】2020年度

## 【事業予算】

- ▼検索連動型広告：330,000円（地域自殺対策強化交付金1/2事業）国庫165,000円
- ▼自殺予防動画作成：24,000円（地域自殺対策強化交付金2/3事業）国庫16,000円
- ▼SNSを利用した情報発信：0円

## 【利点】

- ▼知りたいときに、いつでも情報が入手できる。
- ▼希死念慮のある対象に相談窓口情報を提供できる。
- ▼情報を得て、そのまま相談につながる（ワンクリックで相談ダイヤルに発信）ができる。

## 【実施に至るまで】

## 背景・必要性

- ①本県の自殺者数は、2017年まで減少傾向であったが、2018年より増加に転じている。
- ②本県の若い世代の自殺者数は、横ばい傾向が続いている。
- ③近年では特に若い世代を中心にスマートフォンなどの通信ツールが重要な情報源となっており、自殺のほのめかし、自殺手段の検索などにも用いられる可能性が高い。
- ④必要な人にピンポイントでタイムリーに情報を提供することで、確実に相談窓口につながってもらう必要がある。

## 計画を立てる上での工夫

- ①検索連動型広告は、若い世代が多く検索する Google を用いた。広告に掲載した「こころの健康相談統一ダイヤル」番号をクリックすれば、そのまま電話がかけられるようにした。
- ②自殺予防動画は、子どもや若い世代のファンが多いと思われる県内プロスポーツチームの選手に出演してもらうことで、関心を持ってもらえるように工夫した。
- ③SNS を利用した情報発信は、若い世代のユーザーが多い Twitter を用いた。

#### 具体的な内容

##### ▼検索連動型広告（2020年7月14日～2021年3月31日）

- ・ 広告代理業者に委託契約
- ・ 県内契約端末のみを対象を絞り広告する
- ・ 一月あたりに振り分けた予算内でひと月の広告回数の上限を設定し、予算の範囲で実施
- ・ 検索者の特性(携帯契約者情報から、年代、性別、居住市町村、検索時間のデータを分析)

##### ▼自殺予防動画（2020年8月21日～順次公開）

- ・ 動画は、1分程度の長さを3種類作成
- ・ 選手の体験談を元に、視聴者に「こころの健康相談統一ダイヤル」を案内する内容
- ・ Youtube 配信のほか、県内各地のデジタルサイネージで放映

##### ▼SNS を用いた情報発信（2020年8月14日～）

- ・ Twitter を用いるが、情報発信に特化させ、DM 機能や返信機能には制限をかけて実施
- ・ 月に1～2回程度配信。自殺対策強化月間等では毎週配信
- ・ 内容は、こころの健康相談統一ダイヤル、各種相談窓口(関係機関情報)の案内とする

#### 【成果】

- ▼検索連動型広告表示回数 96,771 回、広告クリック数 6,021 回（クリック率 6.22%）
- ▼自殺予防動画再生回数 2,283 回
- ▼Twitter フォロワー数は 106 名（R3.6月現在）

#### 【補足】

- ▼特になし

#### 【課題】

- ▼死にたい気持ちに至る過程のできるだけ早い段階で支援者につながるよう、必要な相談窓口を見つけやすくする等の利便性の向上が必要。
- ▼利用者の実態把握(傾向の把握・分析)をし、他の自殺対策事業に結果を活用する。

【事業種別】	(自殺対策担当および産業保健に従事する保健師等)	
【準備期間】	60 日	
【人数】	1 人	
【人口規模】	1,938,000 人	
【財政規模】	745,128,000,000 円	
【自治体負担率】	検索連動型広告 50%、動画作成 30%	
【事業対象】	県民全般および若者	
【支援対象】	県民全般および若者	
【委託の有無】	無し	
【実施主体・問合せ先】	群馬県こころの健康センター TEL : 027 (263) 1166 Mail: kokoro@pref.gunma.lg.jp	

#### 【参考資料・文献】

1. 群馬県こころの健康センターHP